| 科目名　：　国語総合 | 単位数　：　4　単位 | 必要スクーリング出席回数：　4　回 |
|---|---|---|
| 使用教科書　：新編国語総合　（東京書籍） | | |
| 学習書　・副読本　：同準拠学習書　（ＮＨＫ出版） | | |

| | 年間総数 | １範囲 | ２範囲 | ３範囲 |
|---|---|---|---|---|
| レポート　[R] | 12　枚 | 4　枚 | 4　枚 | 4　枚 |
| スクーリング　[S] | 16　回 | 6　回 | 5　回 | 5　回 |
| テスト　[T] | 3　回 | ○ | × | ○ |
| その他　（課題・実習等） | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・「国語総合」は、すべての国語の学習の基礎となるものです。内容は現代文（評論や詩・小説などの文学的な文章）と古典・漢文の初歩を学習します。
・レポート作成の前に、一度本文を通読しておきましょう。問題は、教科書や学習書を活用して取り組むことができます。
・スクーリングでは、レポートで扱う内容をより深く読み味わえるよう講義を行います。
・試験は各範囲ごとに実施し、レポートの問題から出題されます。

## 2　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## 3　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b　：話す・聞く能力 | c　：書く能力 | d　：読む能力 | e：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 教科書や学習書を用いて自学自習に取り組むとともに、国語や言語文化に対する関心を深め、国語を通して進んで表現したり理解したりする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりしてることで、自分の考えを深めている。 | 目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めている。 | 文章を表現に即して適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。 | 伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ・記述の点検（レポート） | ・観察（スクーリング）<br>・記述の点検（レポート） | ・記述の確認及び分析（レポート）<br>・定期考査 | ・記述の確認及び分析（レポート）<br>・定期考査 | ・記述の確認及び分析（レポート）<br>・定期考査 |

・学年末に５段階で評価する。

## 4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 a | b | c | d | e | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1範囲 | 学習に取り組む姿勢を養う | ①随筆<br>「待つということ」<br>②評論<br>「真の自立とは」<br>②詩「空をかついで」<br>「二十億光年の孤独」<br>⑤古文　古文に親しむ<br>竹取物語・方丈記<br>徒然草・奥の細道<br>⑥古文<br>『宇治拾遺物語』<br>「児のそら寝」<br>⑦漢文　漢文入門<br>⑧漢文　論語 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | a:教科書や学習書を適切に用い、レポート問題に取り組んでいる。<br>b:指導者の指示を的確に聞き、学習に取り組むことができる。<br>c:問題に応じて適切な表現を用いて文章を書くことができる。<br>d:学習書や資料を参考にして、文章を適切に読むことができる。<br>e:歴史的仮名遣い、漢文の基本的な構造や漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | レポート<br>定期考査 |
| 2範囲 | 国語の基礎力を養う | ①②小説<br>「羅生門」<br>③短歌<br>④和歌<br>万葉集・古今和歌集<br>⑤古文『伊勢物語』<br>「芥川」<br>⑥漢文　故事<br>「借虎威」 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | a:国語や言語文化に対する関心を深め、言葉を通して進んで自分の考えを表現しようとしている。<br>b:指導者の指示を的確に聞くことで、問題の取り組み方を考えることができる。<br>c:問題に応じて自分の考えを筋道を立てて、適切な表現で書きまとめることができる。<br>d:学習書や資料を参考にして、文章を表現の特色に注意して読むことができる。<br>e:歴史的仮名遣いや漢文の構造、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | レポート |
| 3範囲 | 言葉を通して考えを深める | ①俳句<br>②③小説<br>「沖縄の手記から」<br>④古文『枕草子』<br>「うつくしきもの」<br>⑤漢文　唐詩<br>⑥漢文　李白・杜甫 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | a:国語や言語文化に対する関心を深め、言葉を通して進んで自分の考えを表現し理解しようとしている。<br>b:指導者の指示を的確に聞くことで、自分の考えをまとめることができる。<br>c:問題に応じた適切な表現で書き、自分の考えをまとめ深めることができる。<br>d:学習書や資料を参考にして文章を適切に読み取り、自分の考えをまとめ深めることができる。<br>e:歴史的仮名遣いや漢文の基本的な構造、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | レポート<br>定期考査 |

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：話す・聞く能力　　c：書く能力
d：読む能力　　e：知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関わる観点には◎を付している。